

# 平成29年度 年度計画にかかる事業報告書 小項目評価一覧(案)

## 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	ウエイト (重要度)	5	4	3	2	1	法人自己評価のポイント	神戸市評価のポイント
		年度計画を大幅に上回って実施	年度計画を上回って実施	年度計画順に実施	年度計画を十分実施できていない	年度計画を大幅に下回っている		
1 市民病院としての役割の発揮								
(1) 救急医療	4	○					<p>(中央)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「断らない救急」の継続, 救急外来患者数の増加(35,244人(前年度比+829人)), 救急車受入患者数の増加(10,532人(前年度比+873人)), 救急車搬送応需率の上昇(99.1%(前年度比+0.5%))</li> <li>・厚生労働省が発表した「平成29年度全国救命救急センター評価」において, 総合評価で4年連続全国第1位</li> </ul> <p>(西)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間365日救急医療体制の継続</li> <li>・救急診療の重要性の周知徹底, システムの再構築, 救急車搬送応需率の上昇(63.1%(前年度比+2.8%))</li> </ul> <p>(西神戸)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「断らない救急」の継続(70.3%(前年度比+0.9%)), 救急車受入患者数の増加(3,559人(前年度比+66人)), 救急外来・入院患者数増加への対応</li> </ul>	<p>【評価を4→5に引き上げた】</p> <p>中央市民病院では, 救急車搬送の応需率を更に引き上げ, 「全国救命救急センター評価」において総合評価で4年連続全国1位となるなど, 「断らない救急」を実践した。また, 西市民病院と西神戸医療センターでも, 救急車搬送の応需率が前年度を上回った。</p> <p>(救急車搬送応需率)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中央市民病院: 99.1%(前年度比+0.5%)</li> <li>○西市民病院: 63.1%(前年度比+2.8%)</li> <li>○西神戸医療センター: 70.3%(前年度比+0.9%)</li> </ul>
(2) 小児・周産期医療	3			○			<p>(各病院)安定した小児周産期医療提供の継続</p> <p>(中央)総合周産期母子医療センターの運営継続</p> <p>(西)小児二次救急輪番の継続, 小児救急患者増加への対応</p> <p>(西神戸)準夜帯小児救急外来の継続, ハイリスクな妊娠への対応充実, 分娩件数の増加(693件(前年度比+53件))</p>	
(3) 結核・感染症医療	2			○			<p>(中央)第一種感染症指定医療機関としての役割と取り組みの継続</p> <p>(西神戸)市内唯一の結核病床を有する病院として, 総合的な結核医療を安定的に提供</p>	
(4) 災害医療その他の緊急時における医療	2			○			<p>(中央)災害拠点病院として南海トラフ地震を想定した防災訓練の実施</p> <p>(西)神戸市災害対応病院として夜間想定地震対応訓練等の実施</p> <p>(西神戸)神戸市災害対応病院として非常時食料品の一元管理等の取り組み</p>	

※ ウエイトは「市民病院としての公的役割を果たす上で重要」と位置づける項目及び「平成29年度計画」における重点項目である

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	ウエイト (重要度)	5	4	3	2	1	法人自己評価のポイント	神戸市評価のポイント
		年度計画を大幅に上回って実施	年度計画を上回って実施	年度計画順に実施	年度計画を十分実施できない	年度計画を大幅に下回っている		
2 高度医療及び専門医療の充実並びに医療水準向上への貢献								
(1) 高度医療及び専門医療の充実並びに医療需要に応じた医療の提供	2		○				(中央) ・手術支援ロボット「ダヴィンチ」の更なる活用に向けたロボット手術センターの新設 ・検査数の増加(CT52,034件(前年度比2,748件増), MRI19,428件(前年度比2,132件増)) (西) ・既存施設の改修による内視鏡センターの拡張 ・歯科用パノラマX線撮影装置の導入 ・地域包括ケア病棟(37床)の導入 (西神戸) ・検査数の増加(CT22,547件(前年度比807件増), MRI10,601件(前年度比360件増))	
(2) 5疾病(がん, 脳卒中, 急性心筋梗塞, 糖尿病及び精神疾患)への対応	2		○				(中央) ・地域がん診療連携拠点病院としての取組み継続 ・脳卒中センターや心臓センターの一体的運用 (西) ・がん診療連携拠点病院に準じる病院としての取組み継続 ・Kobe DM netでの連携実績増 (西神戸) ・地域がん診療連携拠点病院としての取組み継続 ・PET-CTの導入	【評価を3→4に引き上げた】 中央市民病院では、精神疾患を伴う患者を積極的に受け入れ、精神科身体合併症病棟を効率的に運用した。また、がん患者外来化学療法数と放射線治療数が前年度を大幅に上回った。 さらに、西神戸医療センターにおいてはPET-CTを導入し、がんの集学的治療を提供した。 (中央市民病院) ○がん患者外来化学療法数: 11,156人(前年度比+1,660人) ○がん患者放射線治療数: 11,273人(前年度比+1,853人)
(3) チーム医療の実践及び専門性の発揮	1			○			(各病院) ・多職種のメンバーで構成されたチーム医療の継続 (中央) ・診療科間で横断的に連携する診療体制を継続 (西) ・小児アレルギーチームの設置 ・外来での心臓リハビリテーションの開始 (西神戸) ・新たなチーム医療勉強会の開催 ・排尿ケアチームの設置	
(4) 臨床研究及び治験の推進	2		○				(中央) ・先端医療センター病院の治験・臨床研究の継承 ・臨床研究推進センターの新設 ・文部科学省認定の研究機関の指定 (西)(西神戸) ・標準業務手順書に基づく治験の実施	

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	ウエイト (重要度)	5	4	3	2	1	法人自己評価のポイント	神戸市評価のポイント
		年度計画を大幅に上回って実施	年度計画を上回って実施	年度計画を順調に実施	年度計画を十分に実施できている	年度計画を下回っている		
<b>3 安全で質の高い医療を提供する体制の維持</b>								
(1) 医療の質を管理することの徹底 (クリニカルパス及び臨床評価指標の充実等)	1			○			(中央) ・クリニカルパス運用講習会や、クリニカルパス大会の継続実施 ・電子カルテ等の医療情報システム更新にむけた準備 (中央)(西) ・電子カルテの相互閲覧の開始 (西) ・クリニカルパス利用方法説明会の開催 (西神戸) ・院長ヒアリングにおける診療科ごとのDPCデータを用いた提案 ・医療情報システム(ハード部分)更新に向けた計画策定準備	
(2) 医療安全対策及び医療関連感染(院内感染)対策の強化	2			○			(各病院) ・全職員への医療安全及び感染対策研修会実施の継続 ・医師からのインシデント報告件数を増やすための取り組みを強化 ・院内ラウンドの実施の継続	
(3) 法令及び行動規範の遵守 (コンプライアンス)の徹底	2			○			(共通) ・理事長通知による服務規律の徹底 ・監事監査、会計監査人監査・自主監査の実施 ・情報セキュリティ監査の実施	

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	ウエイト (重要度)	5	4	3	2	1	法人自己評価のポイント	神戸市評価のポイント
		年度計画を大幅に上回って実施	年度計画を上回って実施	年度計画に順調に実施	年度計画に十分できていない	年度計画を下回っている		
4 市民及び患者とともに築くやさしい病院								
(1) 患者のニーズに応じたサービスの提供	2			○			(各病院) ・患者満足度調査や意見箱等による患者ニーズの把握, 改善 ・院内コンサートの継続 ・ボランティアとの連携による患者サービスの向上 (中央)(西) ・遠隔医療通訳の試行実施 (西) ・診療室増加による混雑緩和, 待ち時間の短縮	
(2) 市民及び患者へ開かれた病院(市民への情報発信)	1			○			(各病院) ・患者向け教室等の継続開催, 患者向け広報誌の発行 (中央) ・がん市民フォーラム及びがんサロンの開催, がん相談室開放日の実施継続 (西)(西神戸)(共通) ・ホームページのリニューアルの実施	

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	ウエイト (重要度)	5	4	3	2	1	法人自己評価のポイント	神戸市評価のポイント
		年度計画を大幅に上回って実施	年度計画を上回って実施	年度計画を順調に実施	年度計画を十分に実施できている	年度計画を下回っている		
5 地域医療連携の推進								
(1) 地域医療機関との更なる連携	2		○				(各病院) ・紹介率の向上 ・オープンカンファレンスの継続開催 ・医療機関への訪問や交流会における連携強化 ・FAX予約推進のための取り組み強化(西神戸) ・土曜日のFAX予約の開始	【評価を3→4に引き上げた】 中央市民病院, 西市民病院, 西神戸医療センターでは, オープンカンファレンスや研修会・交流会の開催等により, 顔の見える地域連携の推進を図り, 3病院ともに紹介率が前年度を上回った。 また, 西市民病院では, かかりつけ医相談窓口業務を拡大するとともに, FAX予約の受付時間を延長し, 西神戸医療センターでは, 土曜日のFAX予約を開始するなど, 地域医療機関との連携を強化した。 (紹介率) ○中央市民病院: 64.8%(前年度比+2.3%) ○西市民病院: 53.4%(前年度比+0.4%) ○西神戸医療センター: 70.9%(前年度比+0.6%)
(2) 在宅医療への支援及び在宅医療との連携の強化	1			○			(各病院) ・退院前カンファレンス等, 地域の居宅介護支援事業所, 訪問看護ステーション等との連携 (中央) ・在宅医療推進協議会への参加, 在宅交流セミナーの継続開催 (西) ・訪問看護師やケアマネジャーとの在宅医療支援交流会の開催 (西神戸) ・西区に新たに開設された医療介護サポートセンターとの連携開始	

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	ウエイト (重要度)	5	4	3	2	1	法人自己評価のポイント	神戸市評価のポイント
		年度計画を大幅に上回って実施	年度計画を上回って実施	年度計画に順調に実施	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を下回っている		
6 神戸アイセンター病院の役割								
(1) 高度医療及び専門医療等の充実並びに臨床研究及び治験の推進	1			○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・県下病院で初となる白内障手術機器フェムトセカンドレーザーをはじめとした高度医療機器を導入し、標準医療から高度医療まで実施</li> <li>・中央市民病院と連携して、全身疾患患者への対応や眼科救急等実施</li> <li>・開院前のICLS研修、RRS研修、BLS研修の受講及び開院後の院内ラウンドの毎月実施等医療安全対策の実施</li> <li>・臨床研究・治験推進初期体制の整備(諸規程・審査体制の整備等)</li> <li>・公益社団法人NEXT VISIONの協力のもと視覚障害者誘導研修等研修会の実施</li> </ul>	
(2) 市民及び患者とともに築くやさしい病院並びに地域連携の推進	1			○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・来院者の目線に配慮した施設配置やスムーズな動線、分かりやすい表示の導入</li> <li>・意見箱の設置、退院時アンケートの実施。ご意見への回答集の外来・病棟への設置による取り組み状況の周知</li> <li>・中央市民病院との電子カルテの相互閲覧による円滑な患者の紹介・逆紹介の仕組みの整備</li> <li>・連携カードの運用によるロービジョンケアが必要な患者のNEXTVISIONへの紹介(生活相談や拡大鏡等補助具の紹介)</li> <li>・ホームページ、市内でのポスター掲示、内覧会等、積極的な広報の実施</li> </ul>	

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	ウエイト (重要度)	5	4	3	2	1	法人自己評価のポイント	神戸市評価のポイント
		年度計画を大幅に上回って実施	年度計画を上回って実施	年度計画を順に実施	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を下回っている		
1 優れた専門職の確保と人材育成								
(1) 優れた専門職の確保	2		○				(共通) ・法人本部経営企画室に看護業務統括担当部長の配置 ・合同就職説明会への参加や学校訪問等による看護職員の確保 ・先端医療センター病院との統合時に生じた実情に合わせた専門職の確保 ・新専門医制度に基づく専攻医の確保 ・辞退防止のため看護職員の内定者懇談会の開催 ・レジデント制度の活用の継続	
(2) 職員の能力向上等への取り組み	2			○			(共通) ・事務・技術職員への資格取得支援制度の継続 ・看護職員留学・派遣制度の継続 ・各種研修の実施, 医事課職員研修会, MSW研修会の継続	
(3) 人材育成等における地域貢献	1			○			(共通) ・医療系学生の積極的な受け入れを継続 ・看護師の復職支援のための取り組みを継続	

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

項目	ウエイト (重要度)	5	4	3	2	1	法人自己評価のポイント	神戸市評価のポイント
		年度計画を大幅に上回って実施	年度計画を上回って実施	年度計画順に実施	年度計画を十分に実施できない	年度計画を下回っている		
2 働きやすくやりがいの持てる環境づくり								
(1) 努力が評価され報われる人事給与制度等の導入	1			○			(共通) ・医師の人事評価制度について試行実施 ・医師以外の職種の人事評価制度について本格実施 ・法人職員の係長昇任選考の継続	
(2) 働きやすい環境の整備	2			○			(共通) ・医師以外の正規職員への育児短時間勤務制度の導入 ・優秀職員表彰の継続実施 ・時間外勤務の縮減に向けた取り組みの実施 ・医師等の働き方改革について国や県等に対する要望活動の実施	



第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

項目	ウェイト (重要度)	5	4	3	2	1	法人自己評価のポイント	神戸市評価のポイント
		年度計画を大幅に上回って実施	年度計画を上回って実施	年度計画を順実に実施	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を下回っている		
1 安定的な経営基盤の維持								
(1) 安定的な経常収支及び資金収支の維持	3		○				(各病院) ・各診療科の傾向把握・分析等をテーマに院長ヒアリングを実施し、各診療科に対する経営改善の意識向上を徹底 ・経営改善の院内周知、収入確保、経費削減に向けた取り組みの推進 (共通) ・機構全体として経常収支及び単年度資金収支ともに黒字の確保	【評価を3→4に引き上げた】 法人全体において、組織が大きく変わる中で、平成29年度の経常損益及び資金収支は、法人全体で3年ぶりの黒字を達成した。 (経常損益)250百万円(前年度比+759百万円) (資金収支)7,082百万円(前年度比+8,316百万円)
(2) 収入の確保	2		○				(各病院) ・DPCを踏まえた適切な病床運用、在院日数適正化に向けた取り組み継続 ・平成30年度診療報酬改定に向けた対応 (中央) ・先端医療センター病院との統合に伴う救急医療体制等の機能強化 (西) ・地域包括ケア病棟の導入 (西神戸) ・地域医療機関との連携による新入院患者の確保及び平均在院日数の短縮 (アイセンター) ・当初計画に基づく着実な収入確保 (共通) ・寄付金の積極的な受入れ、製薬企業からの寄付の受入れ開始	
(3) 費用の合理化及び業務の効率化	2			○			(共通) ・ベンチマークシステムを活用した価格交渉の実施 ・後発医薬品の導入促進 ・診療材料合同見積合せに関する説明会の開催 ・先端医療センター病院の統合に伴う在庫定数の見直し検討	

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

項目	ウエイト (重要度)	5	4	3	2	1	法人自己評価のポイント	神戸市評価のポイント
		年度計画を大幅に上回って実施	年度計画を上回って実施	年度計画を順実に実施	年度計画を十分に実施できている	年度計画を大下回っている		
2 質の高い経営ができる病院づくり								
(1) 質の高い経営体制の維持	2		○				(共通) ・理事会・常任理事会の定期開催, 理事長ヒアリング, 院長ヒアリングの継続実施 ・理事長通知による服務規律の徹底 ・臨床研究の推進や経営改善に向けた役員体制の充実 ・マネジメントシートによる年度計画のマネジメント, 常任理事会及び理事会への結果報告の継続 ・役員勉強会の開催	
(2) 計画的な投資の実施	1			○			(共通) ・高額医療機器の投資の平準化 ・増築及び既存施設の改修を行い, 医療機能や執務環境を充実	
(3) 環境にやさしい病院づくり	1			○			(各病院) ・エネルギー廃棄物の削減に向けた取り組みを継続 (中央) ・水素発電事業の実証実験への協力 (西神戸) ・ESCO事業の継続	

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

項目	ウエイト (重要度)	5	4	3	2	1	法人自己評価のポイント	神戸市評価のポイント
		年度計画を大幅に上回って実施	年度計画を上回って実施	年度計画順に実施	年度計画を十分実施できている	年度計画を下回っている		
1 中央市民病院におけるPFI事業の円滑な推進								
	1			○			(中央) ・PFI業務に関するモニタリングの実施、業務実施状況の確認 ・PFI事業導入後5年間の検証を実施	
2 市関連病院との連携								
	1			○			(共通) ・市関連病院連絡調整会議を開催し、さらなる連携推進に向けた検討の継続、人事交流の推進 ・西神戸医療センターの市民病院機構への円滑な移管 ・先端医療センター病院の統合及び神戸アイセンター病院開設	【参考】 ○4月に西神戸医療センターの市民病院機構への移管 ○11月に先端医療センター病院を中央市民病院と統合
3 神戸医療産業都市における役割								
	3		○				(中央) ・臨床研究推進センターの新設 ・大阪大学、京都大学iPS細胞研究所、理化学研究所による共同研究でのiPS細胞を用いた網膜移植の臨床研究の実施 ・神戸低侵襲がん医療センター、西記念ポートアイランドリハビリテーション病院等周辺医療機関に加え、平成29年度から新たに国際がん医療・研究センター(ICCRC)、神戸陽子線センターとも、それぞれの機能特性を生かした連携を推進	【評価を3→4に引き上げた】 中央市民病院では、11月に先端医療センター病院を統合し、医療機能を効果的に継承するとともに、PET-CT検査予約・検診事業を引き継ぐなど、より神戸医療産業都市の中核機関としての役割を強化した。また、神戸低侵襲がん医療センターとの化学療法治療等の連携強化や緩和ケア目的の転院の促進を行った。 (転院支援33件)